



救急カートラウンドを実施しました！

9月9日に救急看護認定看護師と感染管理認定看護師で、各部署に設置してある救急カートのラウンドを実施しました。ラウンドの結果、バイトブロックが劣化して一部破損しているものや、歯形がついているもの、金属部分が飛び出して危険なものもありました。



＜劣化による破損＞



＜劣化によるひび割れ＞



＜歯形＞



＜金属部分の飛びだし＞

現在のバイトブロックは、使用後に洗浄・滅菌して使用しています。しかし、歯形が残っているものや、ひび割れているものは洗浄が十分にできないために、滅菌後も菌が残る恐れがあります。破損しているものや金属部分が飛び出しているものは、使用中に患者の口に一部が落下してしまう危険性があります。感染対策委員会で検討した結果、今後、ディスプレイのバイトブロックに変更していく予定です。救急カートのラウンドは今後も行っていく予定ですが、院内の救急カートは25台あるため、全部署をラウンドするには時間がかかります。各部署で救急カートの搭載物品について不明な点があればいつでもご連絡ください。